

教育センターだより

南砺市教育センター



何のための教育か

南砺市教育委員会 教育長 松本 謙一

今でも小学校 1 年生の生活科でアサガオの勉強をしている学校が多いと思います。私も（30 年前）、一人一鉢でアサガオを育てさせました。自分の鉢にまで好きな絵を描いて、「アサガオさん」へのお手紙も付けて、心を込めて育てさせた（つもりだった）のです。

『一人一鉢』なので、もし、その子供のアサガオが枯れてしまったら困ります。なぜなら、アサガオもかわいそうだし、その後の学習が成立しなくなるからです。私は、一生懸命、子供が下校した後、土日も水やりを忘れられたアサガオが決して枯れないようにと、こまめに水やりを（こっそりと）していたのです。



6 月下旬、きれいな紫色の花が一輪咲きました。子供たちが笑顔になる瞬間です。学級で一番初めに咲いたのは、A さんという女の子の鉢でした。

「先生、私、毎日ね、『早く咲いてね。きれいに咲いてね。』ってお話ししながら、お世話したの。そうしたらね、一番にこんなにきれいに咲いたんだよ。」

みんなの前でうれしそうに話す A さん。周りのみんなもうれしい気持ちに包まれる瞬間です。私も、「ああ、それはよかったね。」と受け止め、みんなで A さんの喜びを共有しながら、すてきな時間が流れていきます。

次の瞬間でした。隣の B 君が、

「俺なんか、一回も水やりせんけど、明日咲きそうや。」

と、ぶっきらぼうにつぶやくのです。私が、子供たちが帰ってから水やりをしていたなんて何にも知らないで……。いっぺんに現実に戻されました。

「一体、私は何の先生だったのでしょうか。アサガオの医師??」と思いました。アサガオが死なないように処方箋を作ってやっていた。でも、その結果、育てるべき子供は、「世話をしなくても花が咲く」（楽をしてもうまくいく）ということを学んでしまっていたのです。

どこか間違えていますね、子供のためにと行って行った私の支援は。「世話をしなかったら枯れる。」このことを、体験を通して学んでいくことこそ大切なのに、つつい失敗しないようにと先回りばかりしていた教師だったのです。

さて、先生方は毎日、どんな思いで子供に対応しておられるでしょうか。目先のことばかりに振り回されず、遠くにある教育のねらい、もう一度「どんな子供に、いや大人に育ててほしいのか？」を問い直し、子供に対応していきたいものです。

令和3年度 南砺市教育講演会について

日 時：令和 3 年 4 月 2 日（金） 14:00～16:30

場 所：南砺市井波総合文化センター「メモリアホール」

講 師：東京学芸大学 教育学部 准教授 高橋 純 先生

演 題：「主体的・対話的で深い学びと ICT の関わり～授業における ICT 活用例～」



GIGA スクール構想の実現に向けて最前線でご活躍されている著名な先生による貴重なご講演です。年度初めのお忙しい時期ではございますが、ご参加いただきますよう、よろしくお願いたします。

令和3年度の学校訪問研修に向けて

昨年12月24日(木)に、西部教育事務所と南砺市教育委員会、南砺市教育センターで、今年度の学校訪問研修の振り返りを行いました。その際に話題となったことをご紹介します。来年度の学校訪問研修や日々の授業改善に向けて、参考にいただければ幸いです。

- 「チーム担任制」によるきめ細かな支援が行き届いており、子供たちの心の安定と学びの保障につながっている。また、若手教員の資質向上にも役立っている。
- 指導と評価の一体化を目指し、子供に身に付けさせる資質・能力は何か、子供たちのどのような姿からそれを見とるのかを明確にし、日々の授業改善に取り組むことが大切である。
- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価における「粘り強さ」と「自己調整力」について、子供自身が自分の変容に気づき、学び合いの価値を実感できるような振り返りの場を工夫することが大切である。

ステップアップ研修会

この研修会は、7～9年次の先生方を対象に、市内の先輩教員(自校を含む)の授業や学級経営等を参観することを通して、これまでの自分の取組を振り返ったり、授業における手立てや支援の仕方等について学んだことを今後の自分の実践に生かしたりすることを目的に実施しました。いわば市全体を大きな職場と考えたOJT研修です。今年度は8名の先生方が受講されました。指導いただいた先生方、受け入れ校の先生方、本当にありがとうございました。

来年度、この研修会は、7～9年次の先生方による授業実践と事後研修会を通して「授業力の向上」を目指した研修会にしていく予定です。より充実した研修となるように、これまでのステップアップ研修会とは違う形で行うこととなりますが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

NYT(南砺市若手教師)道場の活動

今年度は、市内の小・中学校、保育園から53名の若手教員の参加があり、校種や経験年数を超えて交流することができました。運営に携わっていただいた6年次の先生方、会員の参加にご配慮いただいた各学校の先生方には心より感謝いたします。



第1回(9/25)先輩に学ぶ
「ポディーパーカッションを楽しもう」



第2回(2/5)ふるさと学習
「地域おこし協力隊の方と語ろう」

<参加者の感想より>

- 周りの人は初対面だったにも関わらず、楽しい雰囲気で行うことができた。子供とのレクリエーションでもやってみたいと思った。(第1回)
- 地域おこし協力隊の方のお話を聞いて、地域の魅力や課題を知ることができてよかった。(第2回)
- コロナ禍で活動内容が制限されている中ではあったが、大変有意義であった。どの研修も普段の授業に活用しようと前向きに思えた。

調査研究委員会

小学校理科資料委員会では、小学校5年生理科資料「流れる水のはたらき」の改訂版を作成しました。今回の改訂では、小矢部川の現在の様子分かるように写真を新しくするとともに、授業で活用できる動画教材を撮影し、資料に「動画あり」のマークを入れました。新年度に各校に配付いたします。

また、体力づくり委員会では、今年度実施できなかった「新体力テスト」の報告書に代わり、「低学年から始める走力向上のための運動の手引き」を作成し、各小中学校に配付いたしました。わずかな時間でできる簡単な運動例がたくさん紹介されています。ぜひご活用ください。

委員の先生方、ありがとうございました。



今年度も、市教育センターの諸活動にご理解とご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。これからも、先生方のご要望を一層反映できるよう努めていきたいと思っております。さらなるご利用とご意見をお願いいたします。